



去る2月27日、「共済会館や
ま」として第130回組合会が
開催され、平成19年度事業計画
および予算が議決されました。

本事業計画および予算は下表
の数値をもとに計上しています。
各経理の概要は次のとおりです。

平成19年度事業計画・予算の基礎数値

❖ 地方公共団体の数

市	町	村	一部事務組合等	計
12	15	12	33	72

❖ 組合員・被扶養者数(平成19年度末推計)

(単位:人)

種 別	組合員数	扶養者数	
		組合員1人当たり	
一般組合員 (うち特別職) (うち長期組合員)	13,254 (76) (31)	18,902 (113) (—)	1.43 (1.49) (—)
市町村長組合員	39	38	0.97
特定消防組合員	1,621	3,502	2.16
小 計	14,914	22,442	1.50
継続長期組合員	0	—	—
任意継続組合員	368	306	0.83
小 計	368	306	0.83
合 計	15,282	22,748	1.49

❖ 平均給料月額・期末手当等総額(平成19年度末推計)

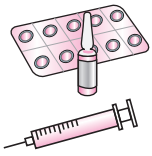
種 別	平均給料月額(円)		期末手当等総額(千円)	
	短期	長期	短期	長期
一般組合員 (うち特別職) (うち長期組合員)	341,702 (597,486) (392,870)	341,088 (533,697) (392,870)	22,716,175 (229,224) (69,135)	22,674,543 (211,668) (69,135)
市町村長組合員	770,000	590,512	122,162	104,596
特定消防組合員	323,261	323,261	2,696,643	2,696,643
継続長期組合員	—	—	—	—
任意継続組合員	298,046	—	—	—
合 計	339,788	339,864	25,534,980	25,475,782

短期経理

この経理は、医療給付や各種給付金などにかかわる経理です。

主に組合員の皆さまから納めていただく掛金や所属所からの負担金でなる収入総額は10億8827万8千円で、一方、医療など各種給付や拠出金などによる支出総額は、99億8079万5千円となり、その結果、平成19年度は短期で1億4140万4千円の当期利益金、介護で3392万1千円の当期損失金が生じる見込みです。なお、短期の当期利益金については、前年度より繰越した欠損金1億4100万8千円を解消するためのものです。

こうした厳しい財政状況から、平成14年度から引き続き全国市町村職員共済組合連合会の財政調整事業の適用を受けるため、本年度の短期掛金率は、支出を賄うために本来必要な掛金率から千分の7・36を減じた率になりました。



掛金・負担金率

毎月の給料にかか率

(単位:千分率)

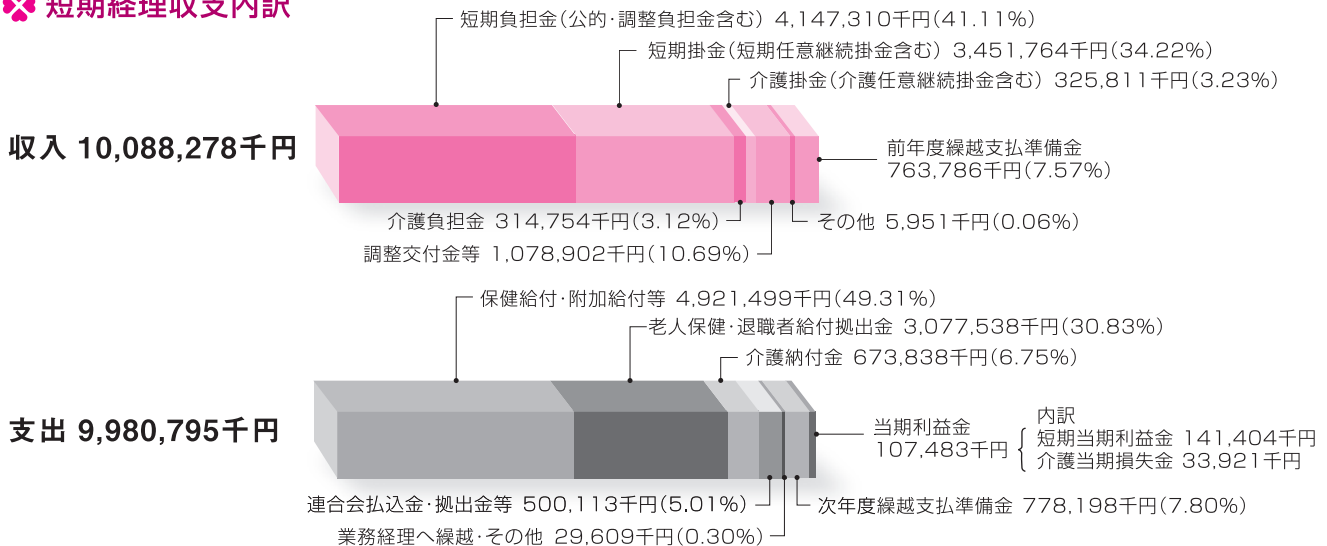
種別		掛金	負担金	調整負担金	公的負担金
市町村長職	短期	33.12	40.48	0.45	0.22
	介護	4.65	4.65	—	—
一般組合員	短期	41.40	50.60	0.5625	0.275
	介護	5.8125	5.8125	—	—
任意継続組合員	短期	92.00	—	—	—
	介護	11.625	—	—	—

期末手当等にかか率

(単位:千分率)

種別		掛金	負担金	調整負担金	公的負担金
市町村長職	短期	33.12	40.48	0.45	0.22
	介護	4.65	4.65	—	—
一般組合員	短期	33.12	40.48	0.45	0.22
	介護	4.65	4.65	—	—

短期経理収支内訳



長期経理

平成19年4月から、構成組合で行われている長期給付事業（年金の決定・支給）が全国市町村職員共済組合連合会に集約され、一元的に処理されることになりました。これにより、年金給付額等は全国市町村職員共済組合連合会の長期経理の予算措置となります。このため今年度の長期経理では、収入として、所属所から徴収する負担金・掛金等を、支出として、同連合会へ払い込むことになる掛金・負担金額のみを計上しています。

また、平成19年度の新法年金額についてですが、平成18年平均の全国消費者物価指数の対前年比変動率はプラス0.3%でありましたが、賃金変動率は0.0%と横ばいでした。物価変動率が賃金変動率を上回り、かつ賃金変動率がマイナスとならない場合には、年金額は賃金変動率で改定することが法律で定められています。そのため、平成19年度の年金額については、平成18年度と同額となります。なお、掛金・負担金率は、下表のとおりです。



掛金・負担金率

❖ 毎月の給料にかかる率

(単位:千分率)

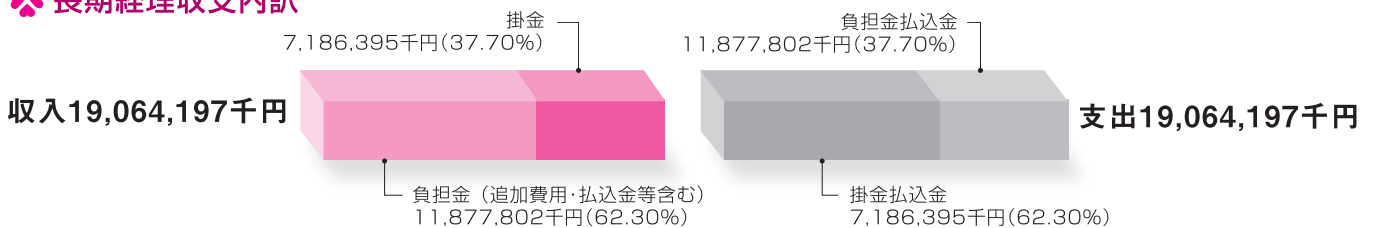
種別	4月～8月			9月～3月		
	掛金	負担金	公的負担金	掛金	負担金	公的負担金
市町村長一般組合員(特別職)	70.46	70.76	20.7	72.23	72.53	20.7
一般組合員(一般職)特定消防	88.0750	88.45	25.875	90.2875	90.6625	25.875
継続長期組合員	88.0750	88.45	25.875	90.2875	90.6625	25.875

❖ 期末手当等にかかる率

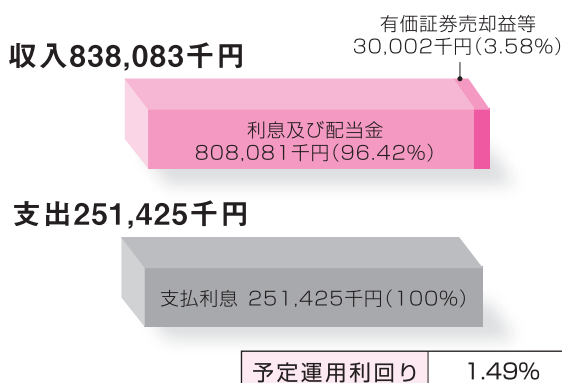
(単位:千分率)

種別	4月～8月			9月～3月		
	掛金	負担金	公的負担金	掛金	負担金	公的負担金
市町村長一般組合員(特別職)	70.46	70.76	20.7	72.23	72.53	20.7
一般組合員(一般職)特定消防	70.46	70.76	20.7	72.23	72.53	20.7
継続長期組合員	70.46	70.76	20.7	72.23	72.53	20.7

❖ 長期経理収支内訳



❖ 預託金管理経理収支内訳



この経理は、平成19年4月からの長期給付事業の一元的処理の実施に伴い、新しく設けられた経理で、全国市町村職員共済組合連合会からの預託金の管理・運用を行うものです。収入において、全国市町村職員共済組合連合会からの預託金と組合員への貸付金にかかる利息等を見込んでいます。支出においては、この収益分の3割相当額を全国市町村職員共済組合連合会への支払利息として、残りの7割相当額が当期利益金となる見込みです。

預託金管理経理

業務経理

この経理は、短期給付、長期給付等の事業を行うための事務に要する費用を賄う経理です。

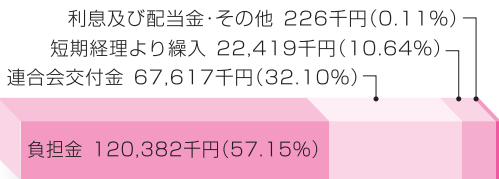
平成19年度予算の収入は、事務費負担金が組合員1人当たり8040円(月額670円)で、収入総額は前年度比3066万5千円の増額となっています。

支出においては、できる限り経費を抑えた予算配分及び思い切った削減を実施し、人件費等に関しては超過勤務等の抑制を図ることで5千円の利益金が生じる見込みです。

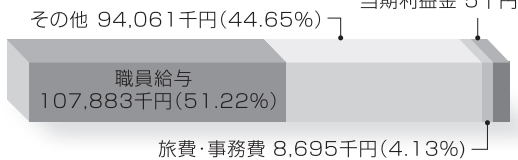
今後も本経理の健全な運営に努め、引き続き経費の削減、組合員及び被扶養者並びに年金受給者に対するサービスの向上に努めてまいります。

業務経理収支内訳

収入 210,644千円



支出 210,639千円



保健経理

この経理は、組合員やそのご家族の福利厚生や健康保持・増進などを目的とした各種事業を行う経理です。平成19年度の掛金負担金率は前年度と同率とします。

また、平成20年4月から、保険者に特定健診・特定保健指導の実施が義務づけられました。このことを踏まえて、健診結果後の保健指導等を行う健康教室の新設や成人病健診、人間ドック助成、電話健康相談、各種講座の開催など、皆さんの健康づくりをバックアップするため、より効果的な事業を実施し、また、広報誌やホームページな

掛金・負担金率

毎月の給料にかかる率 (単位:千分率)

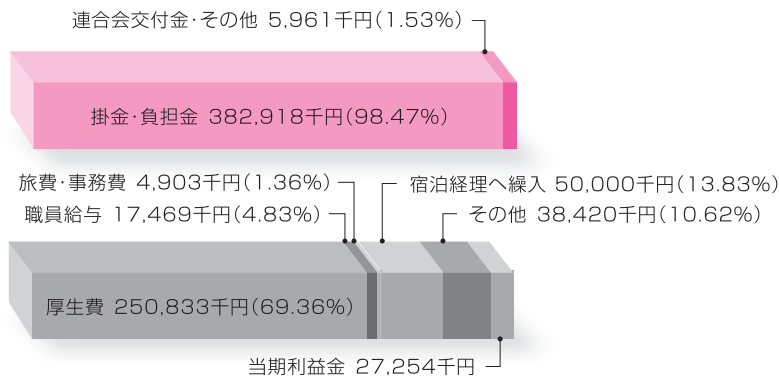
種別	掛金	負担金
市町村長一般組合員(特別職)	1.9	1.9
一般組合員(一般職)特定消防	2.375	2.375

期末手当等にかかる率 (単位:千分率)

種別	掛金	負担金
市町村長一般組合員(特別職)	1.9	1.9
一般組合員(一般職)特定消防	1.9	1.9

保健経理収支内訳

収入 388,879千円



支出 361,625千円

厚生費 250,833千円 (69.36%)

厚生費の内訳

(単位:千円)

項目	平成19年度
成人病健診	36,649
大腸検査	2,823
精密検査	10,911
歯科検査	9,492
婦人科健診	10,196
人間ドック	132,387
電話健康相談	1,524
メンタルヘルス相談	100
医薬品費	700
小計	204,782

(単位:千円)

項目	平成19年度
保養施設利用助成(直営)	22,625
保養施設利用助成(その他)	6,600
小計	29,225
健康家庭表彰	3,500
小計	3,500
保健関係図書	3,911
小計	3,911

(単位:千円)

項目	平成19年度
食生活健康講座	275
健康づくり教室	5,412
衛生管理者研修会	125
ライフプランセミナー	600
小計	6,412
災害見舞金	300
旅費	371
諸謝金	500
事務費・電算処理費用等	1,832
小計	3,003
合計	250,833

どをとおして、お役に立てていただけるようなさまざまな情報を積極的に発信してまいります。詳しい保健事業の内容は12〜13頁をご覧ください。

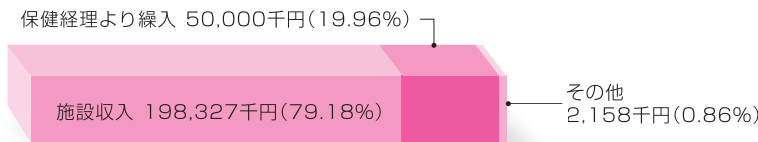
宿泊経理

この経理は「共済会館やまを運営する経理です。
平成19年度の収入のうち、宿泊や宴会などによる施設収入として1億9832万7千円を見込んでいます。
ここ数年の厳しい経営状況を打開

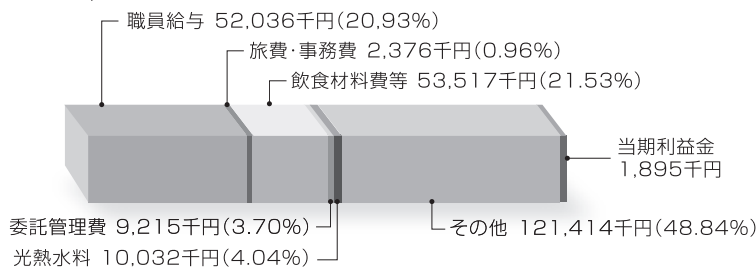
するためにも、宿泊や宴会など、各部門における利用動向をより精査し、商品力を高めるなどして、売り上げの増加、集客力の回復を図ります。
今後より多くの方々にご利用いただけるよう、各種企画商品をご用意し、皆さまのお越しをお待ちしております。

❖ 宿泊経理収支内訳

収入 250,485千円



支出 248,590千円



❖ 貯金の加入状況見込み

平成19年度末推計	
貯金額	67,853,963千円
貯金者数	10,894人
貯金者1人当たり貯金額	6,228千円
組合員加入率	71.12%

なお、収支差引によって生じる当期利益金については欠損金補てん積立金に積み立て、その結果、次年度に繰り越す積立金は24億3929万6千円になる見込みです。

この経理は、皆さまからお預かりしたお金を、共済組合が安全かつ効率的に運用することで収益を得て、貯金加入者の皆さまに利息として還元し、生活の安全、福祉の増進を目的とした経理です。
厳しい金利情勢が続いているなか、より安全で有利な利回りを求めて、平成19年度の当組合貯金の積立貯金利率は、前年度と同率の年利1.8%とし、平成19年度末の貯金総額は678億5396万3千円で、貯金者数は1万894人、加入率は71.12%を見込んでいます。

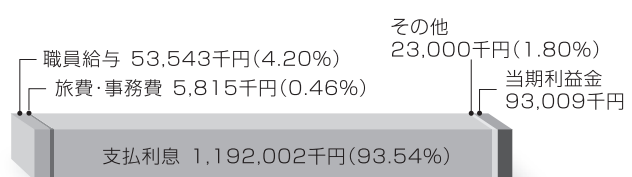
貯金経理

❖ 貯金経理収支内訳

収入 1,367,369千円



支出 1,274,360千円



貸付経理

この経理は、皆さまが住宅建設等にかかる資金が必要なおとき、あるいはご家族の入学・修学にかかる費用が必要なおとき、当組合が低金利でその資金を融資し、組合員の生活の安定を図ることを目的とした経理です。

修学貸付の限度額が504万円から720万円に引き上げられます。

なお、平成19年度末の貸付金の状況は、貸付件数が6085件、貸付金残高が15億5900万7千円になる見込みです。



❖ 貸付条件・状況

種類	貸付条件				貸付状況(平成19年度末推計)			
	利率(年)	最高限度額	償還期間	据置期間	件数	貸付金額	割合	
普通貸付	2.26%	2,000千円	120月	一月	2,056件	1,340,000千円	8.51%	
住宅貸付	2.26	18,000	360	—	3,104	13,256,000	84.12	
災害貸付	新規(阪神・淡路)	1.88 (1.72)	18,000	360	—	26 (0)	140,000 (0)	0.88
	再貸付(阪神・淡路)	1.88 (1.72)	19,000	360	—	8 (0)	99,000 (0)	
	激甚災害による猶予利息	1.72	—	—	24	34	239,000	1.51
在宅介護対応住宅貸付	2.00	3,000	330	—	87	195,000	1.23	
特別貸付	医療	2.26	1,000	120	—	7	9,000	0.06
	入学	2.26	2,000	120	—	193	72,000	0.46
	修学	2.26	7,200	150	72	483	473,000	3.00
	結婚	2.26	2,000	120	—	97	130,907	0.83
	葬祭	2.26	2,000	120	—	7	34,100	0.21
高額医療貸付	無利息	高額療養費相当額	高額療養費が支給されるとき、支給される額より償還する		7	7,000	0.05	
出産貸付	無利息	出産費等相当額	出産費等が支給されるとき、支給される額より償還する		10	3,000	0.02	
合計					6,085	15,759,007	100.00	

❖ 貸付経理収支内訳

